

## 厚生労働省「予防・健康づくりに関する大規模実証事業（運動、栄養、女性の健康、がん検診）」について

### 〈実施主体〉

公益財団法人日本対がん協会

### 〈共同研究者〉

国立がん研究センター 山本精一郎氏

### 〈協力を依頼する市町村の条件〉

がん検診受診率向上に関心があり、実証事業に協力する意欲のある自治体1～2カ所  
(その他の条件は特になし)

### 〈本事業の目的〉

- (1) がん検診受診率向上において、効果的とされてきた介入方法について、協力自治体で実施することにより、その効果を検証する。
- (2) 効果が検証された手法について、府内他市町村へも普及させる。
- (3) 事業終了後も、市町村と都道府県が協力し、持続的にがん検診受診率向上に努められる体制を確立する。

### 〈介入策（案）〉

- (1) 調査により効果的とされてきた介入方法を、協力自治体で実施
- (2) 自治体におけるベストプラクティスの集約と共有
- (3) 検証により効果的と考えられる介入方法の開発や普及
- (4) 検診実施における新型コロナ対策の実施

### 〈想定される事業参加によるメリット〉

- (1) 専門機関の介入により、現状や課題分析に専門的視点での整理が可能となる。
- (2) 効果的とされる介入方法を実施することで、受診率向上を見込める可能性がある。
- (3) 実施市町村において受診率向上等の効果が見られた際、同様の手法を府内他市町村に波及させることで、府内における受診率向上を見込める可能性がある。

### 〈想定される事業参加によるデメリット〉

事業実施において、事業実施者及び京都府との調整等、事務作業が発生する。

### 〈その他〉

- ・介入にあたっては、必要時、事業実施者が費用負担することも内容によっては可能。
- ・参加希望市町村へは、後日、共同研究者の山本氏より直接説明予定。

## 〈参加自治体の募集方法〉

京都府内全26市町村を対象に公募（令和2年11月17日付事務連絡にて実施済み）

## 〈参加自治体〉

福知山市、綾部市、宮津市

## 〈現在の状況〉※R3.2月時点

### ○福知山市

- ・ 検診ガイド（年度当初、全戸配布される各種検診案内冊子）の内容・文言をナッジ理論に基づき変更
- ・ web 申込（京都府電子申請サービス）画面の内容・文言を変更
- ・ web 申込をきっかけとした、メールを使用した受診勧奨（予定）
- ・ ターゲットを絞ったコール・リコール（予定）
- ・ データ分析（がん検診及び特定健診の同時受診者データ解析） ※3自治体同時実施※

### ○綾部市

- ・ 検診ガイドの内容の見直し
- ・ web 申込（京都府電子申請サービス）の新たな開始（予定）
- ・ データ分析（がん検診及び特定健診の同時受診者データ解析） ※3自治体同時実施※

### ○宮津市

- ・ がん検診申込書の改定（オプトアウト方式への変更）
- ・ 未受診者へのリコール方法（電話等）（予定）
- ・ データ分析（がん検診及び特定健診の同時受診者データ解析） ※3自治体同時実施※

## 〈今後の方針〉

- ・ 各自治体と国立がん研究センターとで直接事業を実施（京都府は全自治体の状況を把握）
- ・ 定期的に、国立がん研究センター大規模事業実証事業チームと進捗状況の確認及び方向性の検討（zoomにて）
- ・ 定期的に、3自治体と京都府とで情報共有（zoomにて）
- ・ 3自治体の情報を、府内全自治体へ情報提供

※最終的には、好事例の共有及び、効果的な取り組みについて、府内自治体に導入していく。